

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 25 年 9 月 19 日 (2013.9.19)

【公開番号】特開 2012-54812 (P2012-54812A)

【公開日】平成 24 年 3 月 15 日 (2012.3.15)

【年通号数】公開・登録公報 2012-011

【出願番号】特願 2010-196646 (P2010-196646)

【国際特許分類】

H 0 4 R 3/00 (2006.01)

G 1 0 K 11/178 (2006.01)

H 0 4 R 1/10 (2006.01)

【F I】

H 0 4 R 3/00 3 2 0

G 1 0 K 11/16 H

H 0 4 R 1/10 1 0 1 B

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 8 月 13 日 (2013.8.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 9】

【図 1】音漏れの発生とその低減について説明する図である。

【図 2】音漏れの発生とその低減について説明する図である。

【図 3】音漏れの発生とその低減について説明する図である。

【図 4】音漏れの発生とその低減について説明する図である。

【図 5】本発明を適用した音声再生装置の一実施の形態の構成例を示す図である。

【図 6】音声再生処理を説明するフローチャートである。

【図 7】音声再生装置の他の構成例を示す図である。

【図 8】音声再生処理を説明するフローチャートである。

【図 9】音声再生装置の他の構成例を示す図である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 5】

つまり、バッファ 3 7 R と連結点 Z R との間に、増幅器 9 1 L に対応する増幅器 9 1 R を設ければよい。この増幅器 9 1 R は、バッファ 3 7 R から供給された右チャネルの音声信号に予め定められた係数 $1/N$ を乗算して、その結果得られた信号を連結点 Z R に出力する。これにより連結点 Z R では、A/D変換部 4 1 R からフィルタ処理部 4 2 R に供給される信号に、増幅器 9 1 R からの信号が加算されることになる。